

みんなで授業をつくろう(Part2)

学び合いは 聴き合う関係 が大切

学校はみんなが学び合い、成長していく場所であり、授業はみんなで創りあげていくものです。

「学び合い」とは、自分からはたらきかけて仲間やもの（資料やテキストなど）と関わり、仲間と聴き合う中で学んでいくことです。「勉強」が自分ひとりによる学習で、ひとりで頑張ることが重視されていましたが、「学び合い」は仲間とともに課題に挑戦しながら自分の力を高めていく学習です。

「学び合い」のルールを一人一人が理解し、クラス全体で確認しておくことが大切です。ポイントは、聴き合う関係をつくることです。

- 1 人の話を十分聴く。
- 2 わからないことは「わからないから教えて」と訊く。
- 3 友達に訊かれたら、相手が納得するまで、教える。
- 4 教えてもらったら、「ありがとう」とお礼を言う。



これからの社会では、人と関わったり、チームを組んで仕事をしたりすることがますます大切になってきます。自分からすすんで他の人やものに関わり、異なる考えから新たな発想を生み出すような学び方が求められているのです。わからないことや困難なことに直面したとき、誰かが助けてくれるのを待つのではなく、自分から他に働きかけて支援や援助を引き出す力を身につけること、「学び合い」を通してよりよい人間関係を築くことが目的です。

特に「学び合い」で大切なことは「教えて」と言えることです。支援を求める、意見を求める、自分の考えへのコメントを求める、など。人は周りの人、たくさんの人に依存しながら自立していきます。自立できる人は、多くの依存先をもっている人なのです。

男女混合の4人グループで学習するのは、誰もが学べる最適な人数が4人だからです。いろいろな考えが出て、必ず全員が活動に参加できるということでもあります。

また、「学び合い」は、グループでの学習だけを指すものではありません。クラスの全員が話し手にも聴き手にもなります。コの字型の座席は学級全体での学び合いを進めるために好都合な形ということなのです。

仲間とともに課題に挑戦しながら自分の力を高めていきましょう。



学び合いの基礎・基本「学びの心構え」

学びに向けての姿勢を5つにまとめたものが「学びの心構え」です。留意点をあげておきます。

1 机はぴったりくっつけましょう。

- ペアやグループの時、机のすきまができていませんか？
(机の隙間は心の隙間)
- 欠席者の机も合わせましょう。

2 ペア・グループのとき、真ん中には物を置かず、頭を寄せて考えましょう。

- 物とは筆箱やその時に使っていないノートや教科書のこと。
仲間といっしょに考え合うホワイトボードやワークシートを真ん中に置きましょう。

3 わからないことから話しましょう。

- グループは早く正解を見つける場ではありません。わからなさが宝物です。「わからない、教えて！」が言えていますか。

4 仲間のわからなさに寄り添い一緒に考えましょう。

- 誰かが「わからない」と言ってくれたら、みんなで考えるチャンスです。その人は何に困っているかをわかってあげていますか。

5 グループは全員で参加しましょう。

- グループの時、参加していない人はいませんか？一人でもいたら「あなたはどう思う？」と発言する機会をつくりましょう。

6 コの字のよさは、仲間の顔がみえること。仲間の顔を見て話し、聴きましょう。

- クラス全体で話すときは、先生に向かってではなく、仲間に向かって話しましょう。

7 学びは新しいことを見つけること。クラス全員で学びをつくっていきましょう。

- 学ぶことから逃げている人はいませんか。仲間の学びを邪魔している人はいませんか。仲間の発言から新しい気付きをつくりましょう。

学びの心構え

- 一 課題について
すぐに考え始めよう
- 二 課題解決のために
全力で考えよう
- 三 わからないときは
友達にきこう
- 四 きかれたら
わかりやすく教えよう
- 五 自分の言葉で
まとめよう

4・5月の学び合いステップアップ

一 課題についてすぐに考え始めよう

グループになったら、机をすぐにぴったりと合わせましょう

毎月、「学び合いステップアップ」として意識してほしい項目を挙げます。みなさんには月末アンケートで振り返ってもらいます。